

# 平成31年度 学校いじめ防止基本方針

あきる野市立前田小学校  
校長 森 真 二

## 1. いじめ防止に関する基本的な方針

### (1) 目的

いじめは、人間の尊厳を傷付ける重大な人権問題である。そのことを児童にしっかりと認識させ、相手の立場に立って物事を考えることができるような心や、規範意識を育てることを通して、いじめのない学校をつくる。

### (2) いじめの定義

「いじめ」とは、児童等に対して、同じ学校に在籍しているなど、その児童と一定の人間関係にある他の児童等が行う、心理的又は物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものを含む）であって、その行為の対象となった児童が、心身の苦痛を感じているものをいう。

### (3) いじめ防止の基本的な考え方

- ◎ 「いじめ撲滅三原則」を徹底する。
- ◎ 特別支援コーディネーターを中心に、児童一人一人に応じた支援で自己肯定感を育て、学校全体で児童の規範意識を高める継続的な指導を行い、いじめが生まれにくい土壌を作る。
- ◎ いじめに対しては、「未然防止」「早期発見」「早期対応」「重大事態への対応」という段階に応じて、組織的・計画的な取組を推進する。
- ◎ 「軽微ないじめも見逃さない」等、教員によるいじめの兆候を確実に把握する感覚と、いじめを迅速に解決する能力を高める。
- ◎ 保護者・地域・関係諸機関と連携した取組を推進、協力しながら防止にあたる。

## 2. 組織（4つの段階との関連）

- ◎ いじめの早期発見に努め、いじめが発見された場合は、校長、副校長、主幹教諭、生活指導主任、養護教諭、特別支援コーディネーターで構成する「いじめ・不登校対策委員会」を開催し、早期対応に努め、いじめの早期解決に取り組む。
- ◎ 重大事態が発生した場合には、「いじめ・不登校対策委員会」に、スクールカウンセラーや主任児童委員、民生・児童委員を加えた「いじめ・不登校調査委員会」を設置し、事実関係を明確にするとともに、事態解決に向けて対応する。

## 3. いじめ防止のための具体的な取組

### (1) 前年度の取組の評価

ア 前年度の「いじめ」の実態

- ◎平成30年度のいじめは軽微ないじめも含め8件である。

◎「いじめ」に対する指導状況

嫌がらせ、暴言、暴力、物を取られるなどを受けた児童から相談があり、担任が詳細を確認し、いじめた側の児童への指導後にいじめがなくなったケースが8件である。

◎子供たちの人間関係

言葉がきつく、落ち着きのない児童が、ふざけてやっていることがエスカレートして、トラブルになることがある。また、なぜそのルールがあるのかを考えられず、きちんとルールを守ることができない児童がいる。子供たちの人間関係の中で、いじわるな行動をしてしまうこともある。

本質的には、優しい気持ちがあり、困っている児童には心配して声をかけてあげる姿も見られるので、ルールの必要性について話し合ったり、相手の立場になって気持ちを考え合ったりする機会をつくっている。

◎子供たちのトラブルを解決するためのコミュニケーション能力等の状況

友達とコミュニケーションの取り方がうまくいかず、トラブルになってしまう児童がいるが、支援を進めながらソーシャルスキルを身に付けられるように指導している。

◎保護者の協力

保護者会等で校長から保護者に向けていじめ対策の説明を行い、事前に学校の考えを周知する。また、いじめに関わった児童の家庭には、事実を報告し、学校と協力して児童の指導にあたれるよう、いじめの早期解決に向けて、多方面からの指導を行う。

イ 前年度の取組の成果及び課題

◎継続すべき取り組みとその理由

○スクールカウンセラーによる5年生全員面接

自らスクールカウンセラーのもとに相談に来る児童は、全体の数パーセントである。相談に来ない児童の中にも悩みや深刻な問題を抱えている児童がいるため、スクールカウンセラーなど専門家による全員面接は、いじめの早期発見に大変有効であった。

○毎週行う児童理解朝会

クラスや専科授業などで気になる児童について、全職員で共通理解する時間を毎週設定し対応についての情報共有と対策を検討している。その結果、担任一人で抱え込むことなく、学校全体での支援につなげている。

○校長ポスト

校長への様々な質問や悩み相談として、児童が直接手紙を出して活用している。その内容から児童相互の関係がわかり、いじめの早期発見につながっている。

○アウトメディアチャレンジの取組の推進

テレビやゲーム・スマホ・インターネットなど、電子メディアを長時間やり過ぎると、脳の前頭前野の発達を悪くさせ、覚えたことを消し去るマイナスな作用があることを、保護者や児童に伝え、電子メディアに触れる時間を少なくできるように、家庭で目標を決めさせて進めている。毎月最終月曜日と、学期ごとに1週間チャレンジを行っている。

◎追加すべき取り組みとその背景

○あいさつ運動

月々の生活目標としても、年間3回取り入れている「あいさつ」を月ごとに学年で担当し、朝の登校時、児童同士が顔を合わせ声を出して挨拶する意識を高め、社会性やコミュニケーション能力を育成することを目的とする。同時に、担当教員も児童の手本となる挨拶を行いながら、登校してくる児童の様子や実態を把握し、情報を共有したり、指導目標や指導方針を検討したりする機会とする。

- ◎ 「SNS 東京ルール」に基づいた取組の現時点での状況
  - 前田小学校ルールの児童・保護者への周知
  - 重点項目である、アウトメディアチャレンジの計画と実施
  - 保護者への各家庭での SNS ルール作りの啓蒙
  - SNS あきる野ルールの確認

## (2) 未然防止

- ◎ 「いじめ撲滅三原則」の全教室掲示と、全学級での児童への指導
- ◎ 自己肯定感を育て規範意識を高めるための、学級・学校全体での継続的指導
- ◎ 年間生活目標を「やさしいことばでせいかつをしよう～心をこめたあいさつ～」とし、年間を通して指導を行う。
- ◎ 月1回の「思いやりの日」での講話や話し合い・アンケート調査
  - <テーマ>・自分の心を見つめてみよう（1学期）
  - ・お互いのよさを認め合おう（2学期）
  - ・相手の気持ちを考えて、優しい言葉づかいをしよう（3学期）
- ◎ 毎週の児童理解朝会・年3回の生活指導全体会・生活指導部での情報交換
- ◎ 保護者・地域・関係諸機関（民生委員・主任児童委員・子供家庭センター等）との連携・情報交換

## (3) 早期発見

- ◎ 「思いやりの日」の児童アンケート調査結果の活用
- ◎ 日々の欠席状況の把握と児童の状況の確認
- ◎ スクールカウンセラーによる5年生全員面接
- ◎ 生活指導朝会や生活指導全体会による、教職員の情報共有
- ◎ 校長ポストの活用

## 4. 早期対応

- ◎ 児童への聞き取り
- ◎ 保護者への連絡
- ◎ 「いじめ・不登校対策委員会」による事実確認
- ◎ 教職員の情報共有
- ◎ スクールカウンセラーへの報告・相談

- ◎ 教育委員会、関係諸機関への報告・相談

## 5. 重大事態への対応

- ◎ 「いじめ・不登校対策委員会」「いじめ・不登校調査委員会」による対応
- ◎ 教育委員会や警察など、関係諸機関への報告
- ◎ 臨時保護者会など、関係保護者への対応

## 6. 「SNS 東京ルール」の活用とアウトメディアチャレンジ

- ◎ 前田小学校 SNS ルール（東京 SNS ルールを元に作成）

- ① 午後 9 時以降は SNS を利用しない。
- ② 週に一度は SNS を利用しない日を作る。（アウトメディアチャレンジとして重点的に取り組む）
- ③ 必ずフィルタリングを付けて使用する。
- ④ 自分や友達の名前やメールアドレスを知らない人に教えない。
- ⑤ 相手がいやな気持ちになるような言葉は送らない。
- ⑥ グループを作ったの利用はしない。

- ◎ アウトメディアチャレンジの取組（重点取組）

・ 毎月の思いやりの日（いじめについて考える日）に取り上げるとともに、5 月・9 月・1 月を強化月間として、全校で 1 週間アウトメディアチャレンジを行い、保護者に周知して、各家庭で取り組んでもらう。

- ◎ 「いじめをなくそう子ども会議」を受け、代表委員会を中心として、全校で SNS あきる野ルールを理解させ、ルールを守る活動をさせる。

## 7. その他

### (1) 評価について

- ◎ 学校評価に、いじめに関する取組項目を設定し、評価・改善を行う。

### (2) 校内研修

- ◎ 学校経営方針・いじめ防止基本方針を全職員で確認し、共通理解を図る。

### (3) 保護者・地域との連携

- ◎ 年度当初、学校経営方針を保護者会で配付するとともに、HP にも掲載して周知する。
- ◎ 学校便りや学年便りで、「思いやりの日」やふれあい月間の取組を紹介し、保護者・地域の関心を高める。
- ◎ 個人面談や保護者会で、児童の様子を聞き取る。
- ◎ 道徳授業地区公開講座を 10 月に開催し、道徳教育について、教職員・保護者・地域の方々に意見交換を行う。

(4) いじめ未然防止・早期発見のための年間計画

月	教員・ S C の取組	児童会 の取組	保護者・ 地域との連携	教員研修・ 評価	「思いやりの日」
4	学校経営計画の 保護者会での説明 いじめ対策の説明	あいさつ 運動	学校経営計画の 説明、いじめ対 策の説明	学校経営計画・ いじめ防止基本方 針を全職員で確認	校長講話
5	S C による 5年生の全員面接		1週間アウトメデ ィアチャレンジ		アウトメディアチャ レンジの呼びかけ
6	S C による 5年生の全員面接 ふれあい月間		子ども祭り		アンケート調査 アンケート調査を もとにした指導
7	いじめに関する アンケート調査結果の 聞き取り	いじめをな くそう子ど も会議	個人面談での 情報交換		とらえ方、考え方の 違いについて知る
8					
9	保護者会での児童の様 子の聞き取り・情報交換	あいさつ 運動	保護者会での 情報交換 1週間アウトメデ ィアチャレンジ		生活指導部講話
10		小中合同 挨拶運動	道徳授業 地区公開講座		アンケート調査
11	ふれあい月間				自分や友だちの よさを見つける
12	いじめに関する アンケート調査の 結果の聞き取り		学校便りで いじめに関する 取組紹介	いじめに関する 取組の学校評価	ありがとうポストの メッセージ紹介
1		あいさつ 運動	学校公開 1週間アウトメデ ィアチャレンジ		言われてうれしい 言葉・いやな言葉
2	ふれあい月間			学校評価結果を基 にした評価・改善	ありがとうポストの メッセージ紹介
3	いじめに関する アンケート調査結果の 聞き取り 保護者会での 児童の様子の聞き取り		保護者会での 情報交換		ありがとうポストの メッセージ紹介